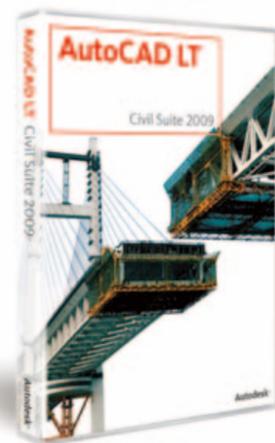


CAD情報 Autodesk

# ご存じですか いま多くの土木業務に携わる企業が公共事業の電子納品で困っています 電子納品の手間を解消する 土木向け電子納品ツール 「AutoCAD LT Civil Suite」

2001年度より導入された公共事業の図面の電子納品が2010年度に全面実施に向け進められている。しかし、土木業務に携わる企業の現状はまだ電子納品に対応しきれていないと言えない。そんな状況の中で、いまオートデスクの土木向け電子納品ツール「AutoCAD LT Civil Suite」が注目を集めている。



## 来年2010年度までに公共事業での電子納品が全面実施 業界関係者はその対応に追われている

### 電子納品への対応が遅れている 3つの要因

公共事業の生産性向上やコスト削減を図るために、2001年度より国土交通省の直轄事業を対象に電子納品の基準、要領となる「CAD製図基準(案)」に基づいた、電子納品がスタートした。現在はまだ移行期間中だが、2010年度までに市町村を含めた公共事業で全面実施に向け整備が進められている。

しかし、多くの関係企業は、まだ電子納品に完全に対応しきれていないのが現状だ。その理由としては、左下の3つの理由が挙げられる。

だが、これまで公共事業を請け負ってきた企業にとって、「電子納品に対応できない」という選択肢は存在しない。どこか

で対応しなくては、と思いながら「お金も時間もかけられない」という現状から、多くの企業は電子納品に関する対応を外注に出すケースが増えている。

### 電子納品の悩みを解決する AutoCAD LT Civil Suite

電子納品への対応に追われている土木業務に携わる企業の中で「AutoCAD LT」と「Autodesk CALS Tools」がセットになった「AutoCAD LT Civil Suite」の評価が高まっている。

DWGファイル形式による効率的な作業をサポートする「AutoCAD LT」とCAD製図基準(案)に準拠した電子納品用の図面データ作成とSXFファイル形式への変換をシームレスにサポートする「Autodesk CALS Tools」の組み合

わせは、これまで時間と手間がかかるとされていた電子納品への対応を劇的に変えるソフトウェアだ。

先にあげた3つの問題点も「AutoCAD LT Civil Suite」を利用すればすべて解決する。業界実績を持つ「Autodesk CALS Tools」が、DWGファイルから電子納品に対応するSXFファイルへの変換をシームレスに実現。また、年間保守サービスの「サブスクリプション」を購入すれば、今後、官公庁の指定する要領や基準が変更されても、ソフトウェアが自動的に対応。さらに、オプションで多数のテンプレートが用意されている。「AutoCAD LT Civil Suite」の導入によって、電子納品に躊躇するユーザーの悩みは一挙に解決できるだろう。

**電子納品の対応が遅れている 3つの要因**

1. 指定ファイル形式の「SXFファイル フォーマット」に利用しているCADが対応していない
2. 納品物に要求される要領や基準が毎年のように変更
3. 業種(道路、河川、ダムなど)や発注者(国交省、県、市町村、NEXCOなど)によって基準が異なる

**AutoCAD LT Civil Suite 専用お問い合わせ窓口を設置**  
お客様との対話やその他営業に困ったら… 即!お尋ねください。

**AutoCAD LT Civil Suite 専門お問い合わせ窓口**  
電話 : 0570-064-755 (平日9:30~17:00)  
Mail : postsales\_autocad@autodesk.jp

※お電話で会員番号を尋ねられたら「501501」とお答えください。

## 図面データ作成を飛躍的に向上させる注目の機能

### 注目機能1 レイヤ振り分けが簡単

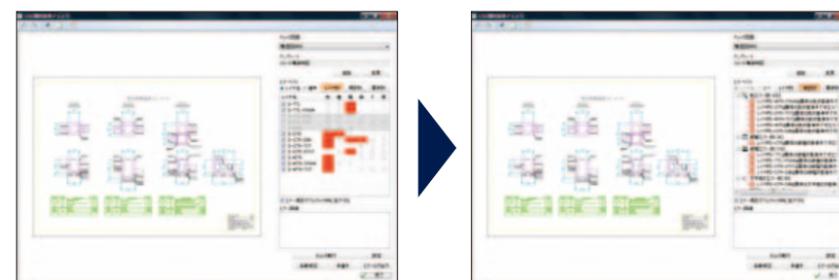
CAD製図基準(案)では、図面の納品時にレイヤに振り分ける必要がある。「自動レイヤ振り分け」機能は業種や発注者によって異なる、レイヤ振り分けの基準も簡単な設定で、自動で行う便利な機能だ。学習機能により次回以降同じパターンで描かれた図面は、さらに効率化する。



オリジナル図面 → CAD製図基準(案)に準拠したレイヤに自動的に振り分けられた図面

### 注目機能2 CAD製図基準(案)のチェック&自動修正が便利

CAD製図基準(案)では図面で使用する線の種類や色、太さの他、文字なども細かく規定されている。「Autodesk CALS Tools」では、「AutoCAD LT」で作成された図面が製図基準(案)に準拠しているかをチェックし、エラーをレイヤ、項目別に検出し、確認後、自動修正を行う。



図面のチェックも簡単。レイヤ別でエラーを確認  
項目別でもエラー内容を確認することができる  
※CAD製図基準(案)の規定では、電子納品の図面データの背景は「黒ベース」です

## 「AutoCAD LT Civil Suite」をエンドユーザ様に提案しよう

この質問でエンドユーザ様がこの製品にマッチするかがわかります!

- 公共事業の仕事に請け負っていますか? → 土木の従事者向けに最適です
- 電子納品CAD図面作成を外注していますか? → (外注費より)安いコストで作成できます
- CAD製図基準(案)を守ることは困難だと思われますか? → 簡単に守れます
- 電子納品用の図面作成に無駄な時間をかけていると思いませんか? → 短時間で電子納品用図面を作成できます
- 電子納品を行っていますか? → 電子納品をサポートします

「はい」が4つ以上なら、この製品がおすすめです。強気でご提案してください。

**市場規模**      **ポテンシャルは400,000本以上**

Civil 3D      AutoCAD LT Civil Suite

大手コンサル 大手ゼネコン      中小コンサル、設計会社 中小建設会社、不動産会社、測量会社      官公庁他

← ターゲットとなる範囲。測量、設計、施工、メンテナンスまで、土木関係企業ならどこでも →

## サポートキャンペーンやクロスグレードでお得に購入

**オートデスク電子納品支援キャンペーン実施中**      **AutoCAD LT ユーザにはクロスグレード製品が特にお得!**

内容: 新規購入製品      AutoCAD LT2007、2008、2009からのクロスグレードは、**定価 ¥103,500**。AutoCADのアップグレードを検討中のお客様にはぜひおすすめです。

通常標準定価	¥248,000
⇒キャンペーン価格(5月15日まで)	¥218,000